

令和5年度第2回かごしまの歴史文化講演会・貴重資料紹介展について

1 趣旨

郷土の歴史や人物等に関する質の高い情報を提供するため、郷土に関する専門家による講演を行う。併せて当館所蔵の貴重資料の中から、講演会の内容に関連した資料を展示するとともに、展示内容に関連した図書資料を案内して利用者の生涯学習を支援する。

2 第2回かごしまの歴史文化講演会

- (1) 日程
令和5年12月23日（土） 13：25～15：25（受付13：00～）
- (2) 場所
県立図書館1階大研修室
- (3) 演題
「郷中教育と赤穂義士」
- (4) 講師
原口 泉 氏（志学館大学人間関係学部教授）
- (5) 定員
180名
- (6) 申込期間
令和5年12月5日（火）から定員に達するまで

3 第2回貴重資料紹介展

- (1) 日程
令和5年12月27日（水）～令和6年2月29日（木）
- (2) 場所
県立図書館1階正面玄関ロビー
- (3) テーマ
「郷中教育と赤穂義士」
- (4) 概要
薩摩藩独特の異年齢集団による自主相互の教育であり、やがて明治維新の原動力となる薩摩藩の功績にも大きく貢献した「郷中教育」。その年の最後の年中行事である「義臣伝輪読書会」の中で語られた赤穂義士の討ち入りについて、忠臣蔵本の基礎となった作品で当館の貴重資料でもある『武家不断枕』を中心に、他の公立図書館等の協力のもと郷中教育や赤穂義士に関する貴重資料を公開する。
- (5) 主な展示資料
『武家不断枕』、『播磨梶原』、『捨小舟』、『新納忠元肖像』、『朝鮮出兵島津勢虎狩絵巻』、『虎狩物語』、『赤穂四十七士義士切腹之図』など